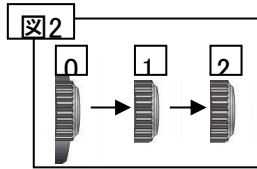


基本操作方法



! この製品はA・Bボタン、リューズ共にねじ込み式となっております。
時刻及び日付の修正、クロノグラフ機能をご使用の場合はねじ込みを解除(6時方向へ回転)の上ご使用下さい。
通常使用前は全てのボタン及びリューズをねじ込み(12時方向へ回転)、一番奥までねじ込まれた状態をご確認の上ご使用下さい。
時刻日付修正、クロノグラフ操作後は特にご注意ください。水入りや曇り等のトラブルの原因となります。

■時刻及び日付の合わせ方



- ① 日付(デイトカレンダー)を合わせる時は、リューズを一段引き出し、1のポジションにします。6時方向へ回すと日付が変わります。
*この時日付が変わるPM9:00~AM3:00の間で日付変更を行わないようにしてください。故障の原因になる恐れがあります。
- ② 時刻を合わせる時は、リューズを二段引き出し、2のポジションにします。
そのままリューズを回して、希望の時刻へ合わせてください。

- ③ 操作が終わったら、再び0のポジションへ押し戻して下さい。
*午前午後をお間違えにならないようにご注意ください。

■クロノグラフの使用法

このクロノグラフは、1/1秒単位で最大59分59秒まで時間を計測して表示することが出来ます。
クロノ秒針は、動き始めてから59分59秒にわたり、連続して動き続けます。

- ① ボタンA
一回押しでスタート、二回目を押すとストップします。三回目を押すと再スタートします。
この機能によって、合計タイムから必要な時間を差し引いたり、または短い時間の集計を出すことが出来ます。
- ② ボタンB
クロノグラフを0位置にリセットします。

■クロノグラフ針の修正方法

クロノグラフ時計の構造は、全般に複雑な構造になっておりますので、リセットの操作で針が12時位置(0)に戻らない場合があります。そのような場合には以下の手順で修正を行ってください。

- ① ストップウォッチがリセットされた状態(Bボタンを押した後)で、リューズを2の状態(*図2参照)まで引き出してください。
- ② この状態でAボタンを押すと、クロノグラフ秒針が時計回りに動きます(3秒ほど押し続けると早送り操作できます)。0位置の手前まで動かしたら小刻みにAボタンを押しいただくと、正確に修正できます。
- ③ 以上の操作が終わったら、0の状態(*図2参照)までリューズを押し込みます。

これでクロノグラフの修正は完了です。

※クロノグラフ秒針が12時位置に戻る前に、リューズを0の状態(*図2参照)に押し込まないで下さい。
押し込まれた際のクロノグラフ秒針の位置が12時位置を認識されてしまいます。